

8Kタッチディスプレイの活用により、絵画や陶磁器などの美術品を細部まで鑑賞できる  
「第25回 国際博物館会議京都大会(ICOM Kyoto 2019)」に  
8Kインタラクティブミュージアムを参考出展



展示ブース(イメージ)

シャープは、9月1日(日)から7日(土)まで、国立京都国際会館(京都市左京区)で開催される「第25回 国際博物館会議京都大会(ICOM Kyoto 2019)」に、70V型8Kタッチディスプレイを活用した8Kインタラクティブミュージアムを参考出展します。絵画や陶磁器などの美術品の超高精細画像を8Kの大画面上に表示。拡大したり回転させたりすることで、実物を見るよりもさらに細部まで鑑賞することが可能となります。世界の博物館関係者が集まる同大会で、8K技術を活用した新たな美術品の展示演出を提案します。

## ■ 展示内容

### 【8Kタッチディスプレイを活用した8Kインタラクティブミュージアム(参考出展)】

#### 1. 絵画などの超高精細8K画像

- ・国宝「洛中洛外図屏風(舟木本)<sup>※1</sup>」をはじめとする絵画や、植物・昆虫などの超高精細8K画像を鮮やかに映し出します。タッチパネルによる直感的な操作で画像を自由に拡大・縮小できるので、緻密な描写や筆のタッチまで確認できます。また、植物の葉脈や昆虫の体の構造など、肉眼では見えない細部までじっくりと観察することが可能です。

#### 2. 陶磁器などの超高精細3DCG画像

- ・重要美術品「大井戸茶碗 銘 有楽<sup>※2</sup>」などの3DCG画像を、8K解像度で表示します。タッチ操作で画像を上下左右に回転させることができるので、茶碗の曲線美や表面の細かな縮れ模様まで、あらゆる角度から鑑賞することが可能です。手に取るのが難しい貴重な美術品を、あたたか目の前で鑑賞しているような感覚をもたらす、新たな展示演出を提案します。

## ■ 出展場所：国立京都国際会館 イベントホール ブース#E13

国際博物館会議京都大会 (ICOM Kyoto 2019)とは

1946年にパリで創設された、ミュージアム(美術館や博物館)の発展を目的とする国際的な機関で、世界各国のミュージアム関係者が加入しています。3年に一度、会員が一堂に会する「大会」が開催されており、今年は初めて日本で実施されます。なお、シャープは本大会に、シルバースポンサーとして協賛しています。

「第25回 国際博物館会議京都大会(ICOM Kyoto 2019)」について

<https://icom-kyoto-2019.org/jp/index.html>

※1 画像提供・監修：独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター、東京国立博物館  
※2 撮影協力・監修：独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター、東京国立博物館